

佐佐木信綱記念館 事業計画書等の要旨【公開用】

申請者名		佐佐木信綱顕彰会会長市川琢也						
基本的な方針		<p>石薬師村に生まれ、歌人であり、国文学者として功績を収め第一回文化勲章を受章された佐佐木信綱先生の著作物や遺品を展示する佐佐木信綱記念館を広く市民に周知し、市民の文化及び教養の向上並びに研究に役立てる場として、魅力ある施設になるよう運営展開を進める。顕彰歌会・講演会、短歌作り指導、信綱かるたを用いたかるた会、信綱・弘綱紙芝居、生家清掃、卯の花の町作りなどの顕彰活動を推進するとともに、記念館の管理・運営を拡充し、記念館としての成果を高めるようにする。</p>						
サービスの向上		<p>佐佐木信綱記念館の所在地である石薬師地区は、東海道の四十四番目の宿にあたり、歴史的にも興味深い史跡が残る地域である。専門的に興味・関心をもたれる来館者には展示資料の詳細な説明を行い、東海道を散策される愛好家には佐佐木信綱先生の功績を十分理解できるよう、口頭による展示案内をし、石薬師地区の文化財や伝承等についても案内する。アンケートや案内中での話からも、来館者からの意見・要望を把握し可能なものについては館の運営に反映させる。ホームページを充実させ情報発信を行うとともに、施設の整備・清掃を行い、来館者の第一印象を決める挨拶や接客対応の向上に努める。</p>						
施設の管理運営経費		<p>過去の実績を基に、来館者へのサービス水準の向上を図りながら、可能な限りの経費節減に努める。また、佐佐木信綱顕彰会内で組織するボランティアを活用し、施設の清掃・美化についての経費を極力抑えた運営を進める。</p>						
施設の安定した管理運営		<p>会計処理については、日常管理者が担当し、各年度末に佐佐木信綱顕彰会役員会の場で報告を行う。</p> <p>鈴鹿市教育委員会、地元交番や消防分署等の連携を密にし、地域の協力を得ながら防犯、防災に努める。開館時・閉館時不審物やごみ等、施設の徹底確認をする。</p> <p>記念館清掃、庭園管理等必要に応じ業者委託をする。</p>						
収支計画書 (千円)	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	期間合計	
	収入合計	5,745	5,745	5,745	5,745	5,745	28,725	
	内訳	指定管理料	5,745	5,745	5,745	5,745	5,745	28,725
		事業収入						
		その他						
支出合計	5,745	5,745	5,745	5,745	5,745	28,725		

※ A 4版 2枚以内としてください。